



- ①「お留守番カメラ」自宅の様子を確認できます
- ②「ココヘルバVcam」映像対話ユニットを備えた「全く新しい」コールシステム
- ③「遠隔操作カメラ」住居やオフィス、店舗でのトラブルに対応します
- ④「パッシブセンサー(左)」と「赤外線センサー」。外からの侵入を防ぎます

セキュリティハウス ケントの指針

- ・目標を明確にとことんやる。
- ・アイデアいっぱい。(人と違ったことをやる)
- ・スピードこそ最高の武器。
- ・シンプルオプザベスト ・笑顔こそ最高の商品。

Information



会社名の最後の「ケント」は、大好きな映画「スパーマン」の主演クラーク・ケントから採った名前。「スパーマン」のようにセキュリティも強く！

株式会社 セキュリティハウス ケント
 〒850-0824 長崎市三景台町29-22
 ☎095-826-2009 ☎095-826-2003
 HP <http://www.s-kent.com>

営 9:00~18:00
 休 土・日・祝日

株式会社 セキュリティハウス ケント
 代表取締役 おぼな としのり 尾花 敏徳 さん



社会の安心・安全なくらしを応援したい！

今回のがんばってますは、いつでも、どこからでも、家庭や会社などを「見守る」ための最新のシステムを提供する、株式会社 セキュリティハウス ケント・代表取締役の尾花敏徳さんをご紹介します。

防 犯センサーが社会を守る

福岡県で生まれ育った尾花さんは高校を卒業後、飲料業界の大手企業に就職。縁あって長崎市に赴任したのは今から約40年前のこと。穏やかな日常生活の中、尾花さんは当時、勤務中に車上荒しに遭遇してしまっ。また、時を同じくして、都市部では銀行強盗事件が勃発していた。

「当時は、「セキュリティ」という言葉はなく、防犯ベルの時代。社会全体に防犯意識も薄い時代背景の中、出張先の米国で事件を数多く目にした上司の「今後の日本を守るのはセンサーだ」という言葉が私の心に火をつけたんです」

そして、人間の体温を感じ取るセンサーを取り扱う企業と出会ったこともあり、尾花さんは創業を決意。拡大する防犯市場に対応すべく、昭和54年に地域密着型で防犯システムを提供する会社を設立した。

大 切な家族の安全を『見守る』

近年は、夫婦共働きが主流となり、昼間

を留守にする家庭が増えている。「そこで皆さんのご心配を解消すべく、360度部屋の中を映し出す『お留守番カメラ』の設置をオススメしたいです」と尾花さんが話すのは、離れた場所からインターネット回線を通じ、スマートフォンやパソコンなどで室内の様子を見ることが出来るもので、呼び出しボタンを押すことでカメラを通して話も可能。

「玄関ドアにセンサーをつけ、帰宅したお子さんの映像を自動的に見れるなど、家族の安全を見守るシステムとして小さな子供さんやペットを飼うご家庭からのニーズが高いですね」

業 務に必要なシステムの構築

同社では、「セキュリティ」というデリケートで秘密性の求められる分野で、在室確認、遠隔監視、業務支援や防犯・防災システムなどを取

セ キュリティへのこだわり

「やはり、最大のテーマは、安心・安全な環境づくりですね」と尾花さん。「どうしたらアクシデントを防げるか、問題を解決できるか」、お客様と共に熟慮したうえで設置方法を決めるのが同社のポリシー。さらに、配

り扱っており、質の高いシステムの設計と施工を遂行している。「例えば、夜間に人手が不足する病院や介護施設だと、部屋に防犯カメラを設置し、何かあれば呼び出しボタンを押してもらい、スマートフォンで職員が見ることのできる仕組みがあれば安心ですね。また、マンションやオフィス、店舗、駐車場や納骨堂などでのトラブルを防ぐためにも防犯カメラの設置は有効だと感じます。設置するだけで不審者の侵入を防ぐことにつながるんです」

線工事などでも、見た目をきれいに仕上げる配慮やシステムのアフターサービスも欠かさない。「ご家庭用から業務用まで幅広いご提案が出来ますので、安心して、もっと身近に利用してもらいたいです」と熱く語った。

皆さん、ご家庭や会社、身のまわりの防犯対策は万全ですか？少しでも不安をかかえている方、また、セキュリティ機器に興味がある方は、ぜひ尾花さんに尋ねてみてください！